

鳥取市議会総務企画委員会会議録

会議年月日	令和5年3月22日（水曜日）		
開 会	午前10時46分	閉 会	午前10時54分
場 所	市役所本庁舎7階 第1委員会室		
出席委員 （8名）	委員長 砂田 典男 副委員長 長坂 則翁 委 員 柳 大地、岡田 実、西尾 彰仁、伊藤 幾子、 平野真理子、上杉 栄一		
欠席委員	なし		
委員外議員	なし		
事務局職員	局長 補佐 毛利 元 議事係長 中川 真理		
出席説明員	【総務部】 総務部長 乾 秀樹 次長兼総務課長 一村 泰志 総務課課長補佐 蔵増 彩 次長兼行財政改革課長 河口 正博 行財政改革課課長補佐 宮崎 学 資産活用推進課長 福井 一朗 【危機管理部】 危機管理部長 森山 武		

午前10時46分 開会

【総務部・危機管理部】

◆砂田典男委員長 ただいまから、総務企画委員会を開会します。

本日の日程ですが、総務部議案審査を行いますので、よろしく願いいたします。

まず、乾部長に御挨拶をいただきたいと思ひます。

○乾 秀樹総務部長 委員長。

◆砂田典男委員長 乾部長。

○乾 秀樹総務部長 はい。改めまして、おはようございます。

（ ） おはようございます。

○乾 秀樹総務部長 総務部長、乾でございます。本日は、このたび追加提案いたしました補正予算について、総務企画委員会を開催していただき、誠にありがとうございます。

この追加の補正予算であります、鳥取砂丘西側リゾートホテルの誘致に伴います市有地の売払い収入について、今後の公共施設整備に活用するために、基金への積立てを行う経費を計上したものでございます。議案の説明、そして審査のほうを、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ます。以上でございます。

議案第62号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち所管に属する部分（説明・質疑・討論・採決）

◆砂田典男委員長 それでは、議事に入ります。議案第62号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分の御説明をお願いいたします。

○福井一朗資産活用推進課長 はい、委員長。

◆砂田典男委員長 福井課長。

○福井一朗資産活用推進課長 はい。資産活用推進課、福井です。どうぞよろしくをお願いいたします。それでは、議案第62号令和4年度鳥取市一般会計補正予算書、補正予算第12号、所管に属する部分について御説明いたします。説明に当たりましては、A4横長の資料5に沿って説明させていただきたいと思っております。

それでは、歳入のほうから、順次説明させていただきます。資料5の2ページを御覧ください。款財産収入、項財産売払い収入、目不動産売払い収入でございます。予算書は10ページを御覧ください。土地売払い収入に、1億2,400万5,000円を計上させていただくものです。補正後の額は、1億6,250万5,000円となります。こちらは、先ほど部長が申しましたとおり、鳥取砂丘西側市有地活用推進事業に係るリゾートホテルの誘致について、土地の引継ぎ条件としておりました建築物の建築確認済証の交付が、本年2月に行われたことを受けまして、今月13日に、土地代金の全額納付があったものです。これによりまして、追加での補正予算を計上させていただいたものです。説明は以上でございます。

○河口正博次長兼行財政改革課長 委員長。

◆砂田典男委員長 河口次長。

○河口正博次長兼行財政改革課長 はい。行財政改革課、河口でございます。私のほうからは、歳出の御説明をさせていただきます。3ページでございます。款総務費、項総務管理費、目財産管理費、公共施設等整備基金積立金でございます。予算書のほうは12ページ、事業別概要は7ページの上段ということでございます。補正額は、1億2,400万5,000円ということでございまして、こちら、先ほど歳入で御説明いたしました、砂丘西側の未利用の市有地の売払い収入ということでございますので、全額、公共施設等整備基金に積立てを行うものでございます。

これによりまして、こちらの基金の残高は、令和4年度末でございますが、24億1,477万7,000円ということになります。こちらにつきましては、財政状況を勘案しながらではございますが、今後の公共施設の整備、それから、修繕等に係る経費の一部として、順次計画的に活用していきたいというふうに考えております。

以上、補正予算の説明でございました。

◆砂田典男委員長 御説明いただきました。

それでは、質疑を行います。本案について、委員の皆様から質疑ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

討論はございますか。

◆伊藤幾子委員 はい。

◆砂田典男委員長 伊藤委員。

◆伊藤幾子委員 はい。この議案については、反対の立場で討論します。手続上、収入があって、それを何かしら基金に積むということについては、全く否定するものではありません。そういったことが行われるというのは、今後の財源のために取られる対応としては、そうだと思います。

でも、このお金の、財源の中身については、もともとこれ、契約の議案が出てきたときに、ハイクラスのホテルを建てるために市有地を売却するということには、反対をしています。そのお金が、いよいよ今回入ってきたということですので、ですから、反対をさせていただきます。以上です。

◆砂田典男委員長 そのほかの委員の皆様で何かございますか。

◆上杉栄一委員 はい。

◆砂田典男委員長 上杉委員。

◆上杉栄一委員 では、私のほうも討論します。この案件は、令和2年、ずっと以前のからあったもんでして、先ほど反対で、アップーミドルというのが反対だ、だから、反対だということでありましたけども、その当時、議会の中では、地元の業者等々と競合しない、ですから、新たな顧客の開拓ということで、これは非常にいいのではないかと。地元業者、地元を圧迫するような形ではなくして、新しい客層というか、そういったことについては、鳥取市の観光振興にとっても、大変これは有利になるというようなことで、このたびのホテルを誘致ということですので、ですから、全体的な、そういった観光振興においては、非常に寄与できるもんでということがありますので、私は、この案件については、賛成をいたします。以上です。

◆砂田典男委員長 そのほかの委員の皆様で何かございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男委員長 以上で、討論を終結いたします。

これより、議案第62号令和4年度鳥取市一般会計補正予算のうち、所管に属する部分を採用します。本案に賛成の方は、挙手を願います。

〔賛成者挙手〕

◆砂田典男委員長 挙手多数と認め、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、総務企画委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

午前10時54分 閉会

鳥取市議会委員会条例第28号第1項の規定によりここに署名する。

総務企画委員長